

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

シリコン氷のう

- ・使用後は中身を捨て、十分乾燥させてからキャップをしめ、乾燥した場所で保管する。
- ・表面の汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用して手洗りする。

キャップ・内ぶた・冷たさキープホルダー

- ・スポンジに中性洗剤を含ませ、きれいに洗い、ぬるま湯か水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとり十分に乾燥させる。

パッキン

- ・パッキンをキャップから取りはずし、ぬるま湯か水で丸洗いし、乾いた布で水分をふきとる。その後、キャップに確実に取りつける。(パッキン表面にゴミなど付着していると、水もれの原因)

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

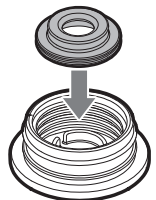
- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 冷たさキープホルダーの外側は、漂白剤を使用しない。サビ・塗装はがれのおそれ。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 煮沸および食器洗浄機、食器乾燥機などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 冷たさキープホルダーは丸洗いでできますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
- 冷たさキープホルダーを丸洗った後は、必ず水分をふきとる。ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長期間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、もれの原因となります。

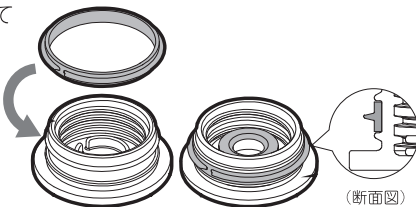
キャップ内パッキンの取り付け方

キャップ中央にパッキンをはめこむ。パッキンが浮かないように指でまんべんなく押す。(もれの原因)



キャップ外パッキンの取り付け方

キャップの溝に全周にわたってはめこむ。取り付け後は、パッキンが浮かないように指でまんべんなく押す。(もれの原因)



こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■キャップからもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	キャップがしっかりとしまっていますか。	しっかりしめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
■保冷が効かない	水を入れすぎていませんか。	規定量になるまで水を減らしてください。
	シリコン氷のうに入れる水の量が少なくなっていますか。	十分な量の氷を入れてください。
	シリコン氷のうの中の氷は、十分に凍っていますか。	凍らせる時間を長くして、十分に凍らせてください。

※パッキンは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話にてお申込みください。

部品名
ABB-M型 シリコン (キャップ、キャップ内パッキン、氷のうセット キャップ外パッキン、内ぶた、シリコン氷のう)
ABB-M型 キャップ内パッキン
ABB-M型 キャップ外パッキン
ABB-M型 内ぶた

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口

固定電話からはこちら 携帯電話からはこちら

 **0570-094891** **06-6453-9489**

※固定電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

- 受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)



ピーコック魔法瓶工業株式会社

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

保冷専用

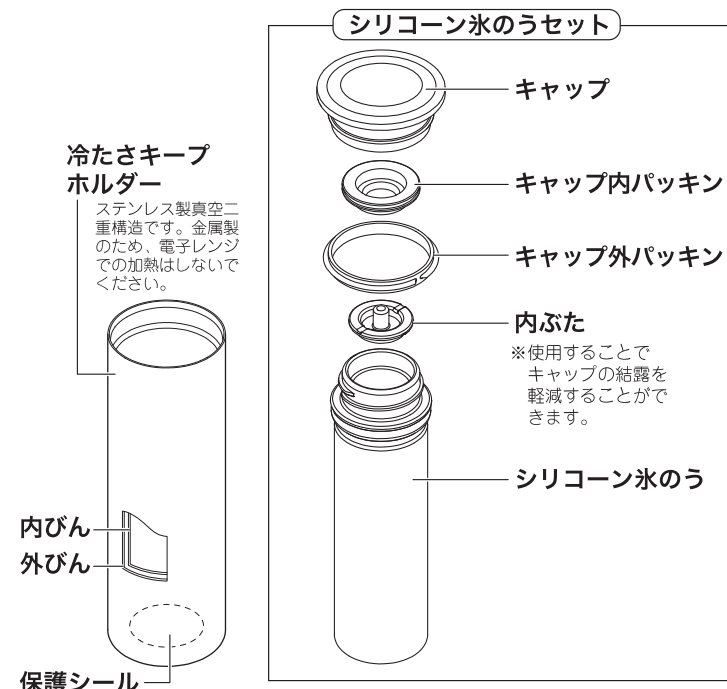
ミニアイスパック (シリコン氷のうタイプ)

取扱説明書

ABB-M型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



この製品は密閉構造ではありません。

取扱説明書中のイラストは、実際のものと異なる場合があります。①

安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

この取扱説明書に示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するものです。注意事項を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告	人が死亡または重傷を負うおそれが想定される内容。	注意	人が傷害を負うおそれまたは物的損害のみの発生が想定される内容。
-----------	--------------------------	-----------	---------------------------------

記号について

禁止	してはいけない内容です。	必ず実施	必ずお守りください。
-----------	--------------	-------------	------------

警告

- ❌ シリコン氷のうで、口や鼻を覆わない。
・窒息するおそれ。特にお子様が使用するときには、必ず保護者のもと十分に注意する。
- ❌ 乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。
・けがなど危険。
- ❗ 異常の発生や症状の悪化を防ぐため、次の場合は使用しない。
・アレルギー体質の方や肌が敏感な方。
・当てる部位に骨折、傷、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常がある場合。
・レイノー病(症候群)、その他の血管痙攣性疾患、冷えに対する過敏症、局所の血液循環不良、神経障害のある方。
- ❗ 次のことを必ず守って正しく使用してください。血行障害や凍傷、負傷事故を防ぐために、次のような使い方をしない。
・就寝時の使用。 ・長時間、同一部位の冷却。
・妊娠中または妊娠していると思われる場合。
・シリコン氷のうに摩擦、損傷のある場合。
- ❗ 使用中に次の異常が発生したら、ただちに使用を中止し、医師に相談してください。
・あてる部位にけが、骨折、傷、痛み、しびれ、腫れ、湿疹、かぶれなどの異常が生じた場合。

注意

- ❌ 絶対に入れない
・水または氷以外のものを入れない。 ・ドライアイスを入れない。
- ・シリコン氷のうおよびキャップの表面が結露する場合があります、他のものを濡らしてしまふことがあります。
- ・水や氷を入れた状態で長く放置しない。 腐敗・変質の原因。

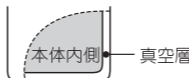
注意

- ❌ 本製品本来の使用目的(氷のう)以外には使用しない。
本製品は治療を目的としたものではありません。
改造や分解修理はしない。 故障や事故の原因。けがや破損の原因。
落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない。
シリコン氷のうセット
使用中に不快感や、皮膚に異常が生じた場合は、直ちに使用を中止する。
氷を入れる場合は無理に押しこまない。また、角のとがった氷は入れない。角をくたくか、水を入れて氷の表面を滑らかにしてください。内側が傷つき、もれ・破損の原因。
規定量以上の水を入れて凍らせない。 破損の原因。
横にしたり逆さにした状態で凍らせない。 もれ・破損の原因。
お湯を入れない。 やけどのおそれ・破損の原因。
直射日光にさらさない。 劣化の原因。
キャップを開閉するときは、シリコン氷のうのシリコン部分を持って開閉しない。 破損の原因。
キャップをしめた状態でシリコン氷のう部分を強く握らない。もれ・変形など故障の原因。
冷たさキープホルダー
冷凍庫に入れない。 破損の原因。
底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。はがすと、保冷効果が低下するおそれ。

- ❗ かばんなどに入れるときは、縦に置く。 万が一のもれを防ぐため。
シリコン氷のうセット
キャップは確実にしめて使用する。 もれや衣服を汚す原因。
パッキンは必ずつけた状態で使用する。 もれや衣服を汚す原因。
使用中にキャップをあけるとキャップと内ぶたの間に水がたまっている可能性があるので注意する。 もれや衣服を汚す原因。

- 冷たさキープホルダー**
使用後は、シリコン氷のうセットをすぐに取り出す。長時間放置すると、傷やサビの原因。

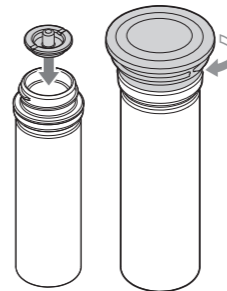
真空層の内部から水の音がある場合は、使用しない。
保冷効果が低下しているおそれ。



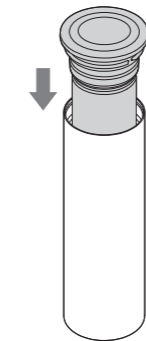
ご使用方法

シリコン氷のうに水を入れ、凍らせて使う場合

- ①シリコン氷のうに水を規定量まで入れ、内ぶたを置き、キャップをしめる。
キャップをしめる際は、シリコン氷のう上部のプラスチック部分を持って矢印の方向にまわしてしめてください。
※内ぶたを使用するとキャップの結露が軽減されます。
- ②凍らせる。
キャップをしたシリコン氷のうセットを必ず立てた状態で凍らせてください。
※シリコン氷のうが大きく変形すると冷たさキープホルダーに入らないことがあります。

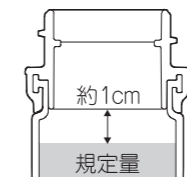


- ③冷たさキープホルダーにシリコン氷のうをセットする。
- ④シリコン氷のうを使う。
冷たさキープホルダーから取り出して、冷やしたい部位にあててください。



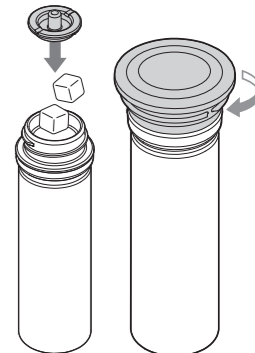
水の規定量

※水の量は図の規定量までにする。
水を入れすぎた状態で凍らせると、水の膨張によってシリコン氷のうが破損したり、キャップが開かなくなるおそれがあります。水を入れる際は必ず規定量を守り、入れすぎた場合は減らしてからキャップをしめて凍らせてください。



シリコン氷のうに氷(と水)を入れて使う場合

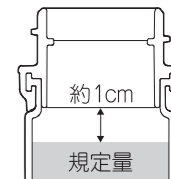
- ①シリコン氷のうに氷と水を規定量まで入れ、内ぶたを置き、キャップをしめる。
シリコン氷のうに入るサイズの氷を先に規定量まで入れ、次に水を入れてください。氷は角をくたくか、水を入れながら氷の表面を滑らかにしてください。
キャップをしめる際は、シリコン氷のう上部のプラスチック部分を持って矢印の方向にしてください。
※内ぶたを使用するとキャップの結露が軽減されます。



- ②冷たさキープホルダーにシリコン氷のうをセットする。
- ③シリコン氷のうを使う。
冷たさキープホルダーから取り出して、冷やしたい部位にあててください。

氷(と水)の規定量

※氷(と水)の量は図の規定量までにする。
氷や水を入れすぎでキャップをしめると、ふきだしたり、シリコン氷のうの破損の原因になります。氷/水を入れる際は必ず規定量を守り、入れすぎた場合は減らしてからキャップをしめてください。



シリコン氷のうセットを使っていない時は

使用しないときはこまめに冷たさキープホルダーにシリコン氷のうセットを入れてください。保冷効果により氷が長持ちします。